

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 ここなくらぶ向陽台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		活動に合わせてスペースを区切っている
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	0%		玄関前とトイレ入り口に多少の段差はあるので注意している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		法人全体で統括が集約し、全体に伝達している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価は行っていないが、第三者による事業所のあり方について検討している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		定期研修はもちろん、外部研修の案内も行っている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		主担当を決め、他スタッフと相談できるようにしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		担当者を入れ替えることで固定化しないようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		実際の利用時間に合わせて計画している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		朝礼時に1日の流れや配慮の必要な児童への対応、その他全体伝達事項等詳細にわたり確認を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		終礼時には、児童への対応についての振り返りを一人一人行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		一人一人の行動を記録し全員で共有している
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		毎月の様子をまとめ、進捗も含め報告相談を行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者を通じて学校と連絡を取ることになるため漏れはあるが関係は良好
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	該当児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	0%	未就学時より利用があった児童ばかりなので就学時に引継ぎをしていただいている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%	必要に応じて情報提供する準備をしている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	0%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	富田林市の連絡会が動き出したので参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や帰宅時に時間を取って話をしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	0%	相談員等と連携して対応している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に詳細を伝達している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	事業所内で共有後、速やかに社長に報告し、原因を探っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月お便りを手渡し、毎週水曜日には活動の様子をHPのブログに載せている
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	相談支援員や保護者の親戚に立ち会ってもらい対応している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	今後の課題になるが難しい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		すぐ手に取ることが出来る場所に設置しているが、保護者への周知に課題あり
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		実際に避難場所への経路等を確認している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		定期的に研修を行い確認している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		身体拘束に至る経緯について理解しているが現在該当する児童なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		重篤なアレルギーの児童なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		毎日、気づく小さなことを記録している

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 年 月 日

事業所名 ここなくらぶ向陽台

保護者等数(児童数)

11 回収数

10 割合

%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	73%	9%	0%	9%		活動時に混在することがあるため要注意
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	73%	18%	0%	0%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	55%	27%	0%	9%		玄関前、トイレ入り口は構造上変更できないため転倒等に配慮する
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	82%	9%	0%	0%		目標等を明確することで分かりやすいものにする
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	91%	0%	0%	0%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	9%	64%	18%		地域行事への参加から始める
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	91%	0%	0%	0%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	91%	0%	0%	0%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	91%	0%	0%	0%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0%	0%	73%	18%		今年後保護者会に代わるものを開催する予定
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	82%	9%	0%	0%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91%	0%	0%	0%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	82%	0%	0%	9%		伝達漏れがないか最後確認を行う
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	91%	0%	0%	0%		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	91%	0%	0%	0%		詳細を保護者へ再度伝達する必要があると感じている
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	91%	0%	0%	0%		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	91%	0%	0%	0%		
	18	事業所の支援に満足しているか	91%	0%	0%	0%	第2の家のように本人のペースで過ごすことが出来ていない	このように感じていただけるよう日々子どもたちに寄り添いたい

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 ここなくらぶ向陽台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		やや広い
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	0%		玄関前とトイレ入り口に多少の段差があるので注意している活動に合わせてスペースを区切っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		寒暖に合わせた温度設定と毎日の掃除の徹底、消毒を行っている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		法人全体で統括が集約し、法人としての意向を全体に伝え、全員が参加出来るようにしているがまだ難しい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価は行っていないが、第三者による事業所のあり方について検討している
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		定期研修はもちろん、外部研修の案内も行っている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		スモールステップの課題と長期の課題を分け作成し、支援内容は出来るだけ細かく記録するようにしている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		主担当を決め、周囲と相談できるようにしている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		担当者を入れ替えることでマンネリ化しないようにしている
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		朝礼時、一日の流れ、配慮が必要な児童への対応の確認、その他伝達等詳細にわたり確認を行っている 終礼時には、児童の対応について一人一人振り返りを行い、翌日への引継事項もまとめる
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		一人一人の行動を記録し全員で共有している
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		毎月児童の様子をまとめ、進捗も含め保護者と共有している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		児童発達支援管理責任者が参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		必要に応じて情報提供する準備をしている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		相談支援事業所や行政に助言を仰ぐことが多い
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		富田林市の連絡会が出来たので参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		連絡帳や帰宅時に時間をとり対応している
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	0%		相談員と連携して対応している
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に詳細を伝えている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		面談で共有してはいるが文章に表すとニュアンスが伝わりにくくなるので再度検討することもある

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		毎月、児童の様子をまとめ保護者と共有している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		事業所内で共有後、速やかに社長に報告し、相談内容を確認し対策を検討している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		毎月お便りを手渡し、毎週水曜日は活動の様子をHPのブログに掲載している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		児童はもちろん、相談員や保護者の親族に立ち会ったもらうこともある
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		今後の課題になるが場所や児童の特性を考えると難しい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		焦らないためにすぐに手に取ることが出来るところにマニュアルを置いている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%		投薬の変更についても確認を行っている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		現在重篤なアレルギーの児童なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		毎日、気づく小さなことを記録している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		定期的に研修を行い確認している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		身体拘束に至る経緯については理解しているが、現在該当する児童なし

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 ここなくらが向陽台 保護者等数(児童数) 3 回収数 2 割合 67 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	67%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	67%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	67%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	0%	67%	0%	0%		目標等を明確にし、分かりやすいものにする
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	0%	67%	0%	0%		支援計画の様式をより分かりやすいものに変更し、丁寧に説明を行う
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	67%	0%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	67%	0%	0%	0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%	67%	0%		地域イベントへの参加からはじめる
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	67%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	67%	0%	0%	0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	67%	0%	0%	0%		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	67%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	67%	0%	0%	0%		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0%	0%	67%	0%		今年度、保護者会に代わるものを開催予定なので詳細が決まり次第保護者の方々に伝える
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	67%	0%	0%	0%		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	67%	0%	0%	0%		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	67%	0%	0%	0%		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	67%	0%	0%	0%		
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	67%	0%	0%	0%		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	67%	0%	0%	0%		
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	67%	0%	0%	0%		
	23 事業所の支援に満足している	67%	0%	0%	0%		

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。